

少数台数のリコール届出の公表について (令和8年4月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和8年4月は7件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みのもの2件については、こちらへの記載はしていません。

1. トヨタ自動車株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|----------------------------------|------|---------------------------|
| 4月8日 | 5790 | 車名：トヨタ 型式：試作 通称名：e-Palette | 42台 | 令和7年7月7日 ～ 令和8年2月6日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| タイヤ空気圧監視装置において、システム異常を検出するプログラムの設定を誤ったため、システム異常が生じた際に低速走行を継続していると、異常判定までの時間が長くなる。そのため、タイヤ空気圧警告灯の点灯が遅れるおそれがある。 | | | | |

2. 日産自動車株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|--|------|----------------------------------|------|----------------------------|
| 4月9日 | 5792 | 車名：ニッサン 型式：ZAA-FE0 通称名：アリア | 65台 | 令和4年2月21日 ～ 令和5年4月5日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 令和6年5月30日付け届出番号「5485」リコール作業において、駆動モータ交換作業要領書の記載が不適切なため、フロントサスペンションメンバの前側固定ボルトが規定トルク以上で締結されたものがある。そのため、当該ボルトが僅かに伸び、走行中の振動等により緩むことがあり、最悪の場合、フロントサスペンションメンバと車体フレーム間に隙間ができ、干渉による異音が発生するおそれがある。 | | | | |

3. Stellantis ジャパン株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 輸入期間 |
|---|-------|--|------|-----------|
| 4月16日 | 外4173 | 車名：シトロエン 型式：3BA-C41HN05 他 通称名：C4 | 2台 | 令和5年4月27日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| リアアクスルクロスメンバーにおいて、製造工程が不適切なため、当該メンバーの部材がずれた状態で溶接されたものがある。そのため、リアアクスルクロスメンバーの溶接部を起点に亀裂が発生し、そのまま使用を続けると、最悪の場合、破損して、走行安定性が損なわれるおそれがある。 | | | | |

4. いすゞ車体株式会社

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|---|------|---|------|------------------------------|
| 4月20日 | 5805 | 車名：いすゞ 型式：2PG-FSR90S4 他 通称名：フォワード | 38台 | 令和6年11月28日 ～ 令和7年5月27日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| 消防車の側方衝突警報装置用左側方レーダーにおいて、取付指示が不適切なため、レーダー本体が誤った方法で取り付けられているものがある。そのため、レーダー機能が正常に働かず、警告灯が点灯し、側方衝突警報装置の機能が停止するおそれがある。 | | | | |

5. 株式会社丸山製作所

| 届出日 | 届出番号 | 車名、型式、通称名 | 対象台数 | 製作期間 |
|--|------|---|------|-----------------------------|
| 4月24日 | 5793 | 車名：丸山 型式：YDN-B204A 他 通称名：BSA-2000CH 他 | 67台 | 令和5年2月22日 ～ 令和7年3月27日 |
| 不具合の部位等 | | | | |
| <p>① 電気装置において、オルタネーターの設計検討が不十分なため、使用電力の増加や熱により発電性能が低下し、バッテリーの充電が不足することがある。そのため、エンジン停止後に再始動ができなくなるおそれがある。</p> <p>② 電気装置において、バッテリー取り付け方法の設計検討が不十分なため、走行時の車両振動によりバッテリーの端子部分が破損することがある。そのため、エンジン停止後に再始動ができなくなるおそれがある。</p> <p>③ 動力伝達装置（プロペラシャフト）において、中間ジョイント保持部の強度が不足しているため、当該ジョイント保持部に亀裂が入ることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進展して破断し、プロペラシャフトが脱落して、他の交通を妨げるおそれがある。</p> | | | | |

【参考】

●令和8年4月のリコール届出件数

| | 全体 (件) | 内 訳 (件) | |
|-----|---------|--------------|--------------|
| | | 対象台数 100 台以上 | 対象台数 100 台未満 |
| 国産車 | 15 (+6) | 10 (+2) | 5 (+4) |
| 輸入車 | 9 (-12) | 7 (-4) | 2 (-8) |
| 計 | 24 (-6) | 17 (-2) | 7 (-4) |

※ () 内は、対前年度同月比

●令和8年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

| 月 | 届出件数 (件) | | | 対 象 台 数 (台) | | |
|----|----------|--------|--------|-----------------|----------------|-----------------|
| | 国産車 | 輸入車 | 合 計 | 国産車 | 輸入車 | 合 計 |
| 4 | 15(+6) | 9(-12) | 24(-6) | 65,036(-77,735) | 32,239(-7,092) | 97,275(-84,827) |
| 小計 | 15(+6) | 9(-12) | 24(-6) | 65,036(-77,735) | 32,239(-7,092) | 97,275(-84,827) |

※ () 内は、対前年度同月比

(問い合わせ先)

| |
|--|
| 国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 太田・藤坂 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42353) |
|--|